

秋田県内のKt/V

橋村春和

秋田県臨床工学技士会

Kt/V in Akita Prefecture

Harukazu Hashimura

Akita Association for Clinical Engineering Technologists

秋田県臨床工学技士会の研究指定演題として、県内のデータを基に集計し項目別にKt/Vを分類した。

データは1999年7月のもので、県内29の透析施設より協力を得、対象を外来維持透析者とした。対象者数は1,034名(女性425名・男性609名)であった。協力内容は、対象者の年齢、性別、透析年数、DW、除水量、透析時間、HD・HDF別、HD前・後BUN値であり、Daugirdasの式を用いてKt/Vを算出した。項目は男女別、年代別、透析年数別、HD・HDF別、HDFにおける置換量別、透析時間別とし、それぞれのKt/Vを比較した。男女別では、図1のように女性 1.56 ± 0.40 、男性 1.31 ± 0.30 と有意($P < 0.05$)に女性が高値となった。年代別では、安定透析の難しい80歳代が少し低いものの他の年代では大きな差はなかった。透析年数別では、透析経験年数による大きな差は見られなかった。HD・HDF別では図2のようにHD 1.39 ± 0.38 、HDF 1.48 ± 0.34 と有意($P < 0.05$)にHDFが高値となった。尚HFに関しては対象数が少なく参考に留めたい。置換量別では、3L置換で1.29とやや低く4L以上では全て1.50以上となった。透析時間別では、図3のように透析時間が長くなるとKt/Vが高値となる、いわゆる右上がりの結果となった。この図だけで判断すると、1.40以上をクリアするには4時間以上の透析が必要となり、1.60以上をクリアするには4.5時間以上の透析が必要となってくる。

男女別のKt/V

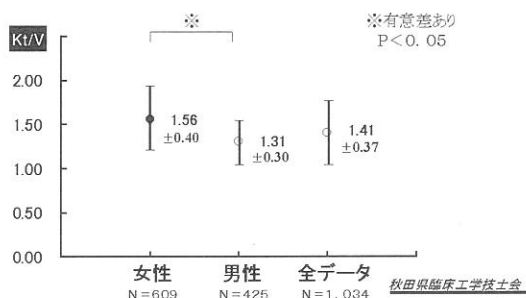


図1

HD・HDF・HF別のKt/V

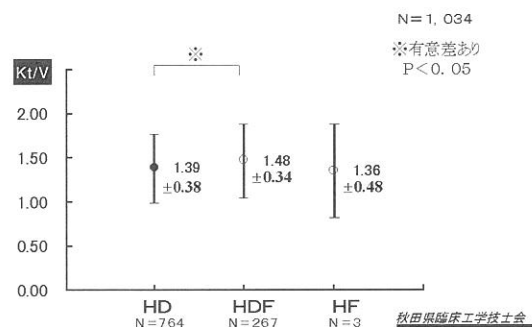


図2

透析時間別のKt/V

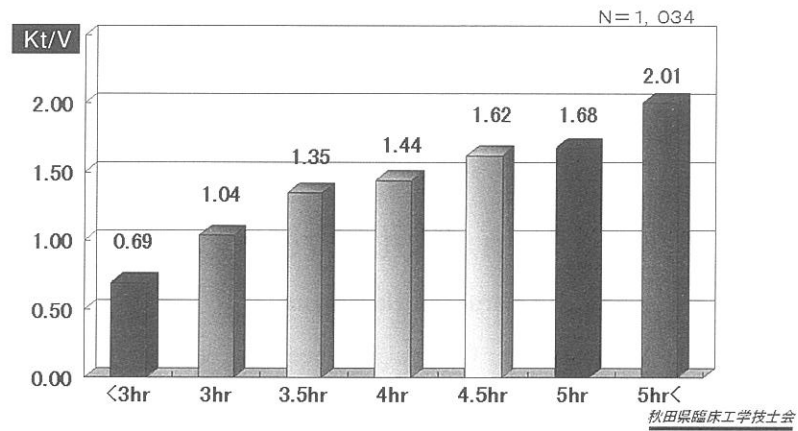


図 3

今回はデータの集計発表とし、各施設において長期維持透析とKt/Vの関係を透析者個々に対して検討し、死亡リスクを少なくしてもらいたいと考えている。